

# 平成 30 年度 公益財団法人赤枝医学研究財団 研究助成公募要項

## I はじめに

社会環境の複雑化を背景に、現在の医学的検査法では異常が認められない身体のだるさ、疲れ易さなど、身体的不定愁訴を訴える患者が激増しております。また、iPS 研究、自然免疫研究、感染症研究、がん研究、分子生物学研究、ゲノム研究を初めとする基礎研究の発展に伴って、昨日までは治療が困難であった病気にも新しい光があてられる時代となりました。一方で、高齢者の増加、出生数の減少に伴い、看護・保健衛生の問題など、社会構造の変化と少子化問題に対処することが喫緊の問題となっております。このような科学研究の進展と日本社会の構造的変化に対応するために、公益財団法人赤枝医学研究財団は下記により研究助成を公募いたします。

## II 助成の対象

1. 不定愁訴に関する基礎的、並びに臨床的研究
2. 感染症、炎症、がん、生活習慣病、免疫不全などに関する基礎的並びに臨床的研究
3. 少子・高齢社会への対応、看護・保健衛生に関する基礎的、並びに臨床的研究

これらの分野について、独創的かつ、将来の発展が期待され、社会への貢献に役立つ研究を募集します。応募にあたり、下記のどの領域での選考を希望するか申請書に記載ください。

- a. 基礎的研究
- b. 臨床的研究
- c. 少子・高齢社会への対応、看護・保健衛生に関する基礎的、並びに臨床的研究

## III 応募規定

1. 同一テーマで、本財団以外の財団及び機関から重複して助成を受けることは出来ません。
2. 同一人物ならびに同じ所属部局に助成金を交付した場合には3年間は交付を行いません。
3. 応募者は個人、またはグループとします。グループとは1名が研究代表者となり数名（5名以下）を研究協力者とする場合です。
4. 研究助成は平成31年4月～平成32年3月までの1年間とします。
5. 助成金額は1件につき100万円以内10件程度とします。

## IV 応募方法

1. 応募者は当財団 URL にアクセスし、研究助成事業・応募申請書をダウンロードしてください。  
(URL : <http://www.akaedakai.com/zaidan/index.html>)
2. 申請書フォーマット（全8枚）に必要な事項を記載してください。  
〔I〕～〔IX〕までを6ページ以内に収め、文字サイズ12pt以上（フォント指定なし）で記載してください。
3. 原本（1部）、コピー（3部）を準備し、当財団宛送付してください。

送付先：〒226-0015 神奈川県横浜市緑区三保町2655-4 タオルミーナ100号室  
公益財団法人 赤枝医学研究財団 事務局宛

## V 応募受付期間

平成30年6月～9月30日（締切日消印有効）

## VI 決定通知

平成30年12月下旬までに申請者に通知します。

## Ⅶ 研究助成金の使途

1. 使途範囲は、研究費（直接経費）とする。但し、以下に記載する費用は対象外とします。
  - ① 応募する研究代表者および共同研究者の人件費
  - ② 汎用性のある機器（例：パソコン、ファクシミリ、複写機）の購入費
  - ③ 応募者が所属する組織の間接経費・管理経費・共通経費
  - ④ 旅費交通費（但し、申請者の国内学会出張は対象となります）
2. 使途内容は、応募申請書記載のとおりに願います。

## Ⅷ 研究成果の報告と期日

1. 最終報告の提出：平成 32 年 3 月 31 日までに助成研究課題に対する事後報告書（3500～4000 字程度）を当財団宛に提出してください。なお、当財団は上記報告書を「助成研究報告集・あゆみ」として印刷物、その他の方法をもって公表致します。
2. 会計報告の提出：平成 32 年 3 月 31 日までに会計報告書（定型の会計報告書）を当財団宛に提出してください。

## Ⅸ 個人情報に関する事項

1. 当財団が当該助成に関して取得する個人情報は、選考作業や助成賛否の連絡など当該助成に関する業務に必要な範囲に限定して取り扱います。
2. 当財団は本件助成が決定した場合、決定者に関する情報を当財団が作成するホームページ、事業報告書及び助成研究報告集・あゆみ等により一般公開致します。
3. 申請書は採否にかかわらず一切返却致しません。

## X 選考

提出頂いた申請書をもとに選考委員会で選考のうえ、理事会の承認を経て助成が決定します。選考委員会は以下の委員により構成されております。（敬称略、五十音順）

選考委員長	荒木 勤	日本医科大学元学長
選考委員	麻生 武志	東京医科歯科大学名誉教授
〃	井口 登美子	東京女子医科大学名誉教授
〃	井坂 恵一	東京医科大学産科婦人科学主任教授
〃	石塚 文平	聖マリアンナ医科大学名誉教授
〃	加藤 治文	国際医療福祉大学大学院客員教授
〃	小松 浩子	慶應義塾大学看護医療学部長・教授
〃	猿田 享男	慶應義塾大学名誉教授
〃	鈴木 ゆめ	横浜市立大学附属市民総合医療センター教授
〃	須田 立雄	昭和大学名誉教授
〃	高橋 秀実	日本医科大学微生物学・免疫学教授
〃	高山 雅臣	東京医科大学名誉教授
〃	田中 忠夫	東京慈恵会医科大学名誉教授
〃	横手 祐二	埼玉医科大学名誉教授